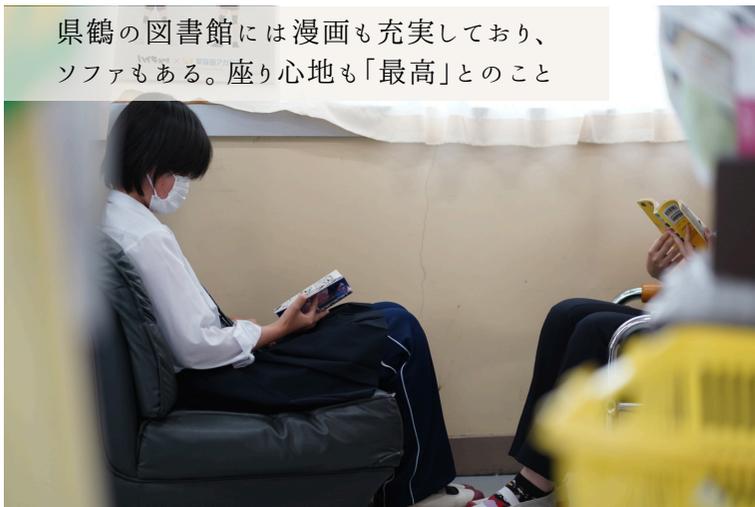


県鶴の図書館には漫画も充実しており、ソファもある。座り心地も「最高」とのこと



委員会の学生たちそれぞれに図書室のお気に入りの場所がある



魅力ある素敵な本に360度囲まれる場所

室内には観葉植物がいくつもあり、癒しの空間となっている



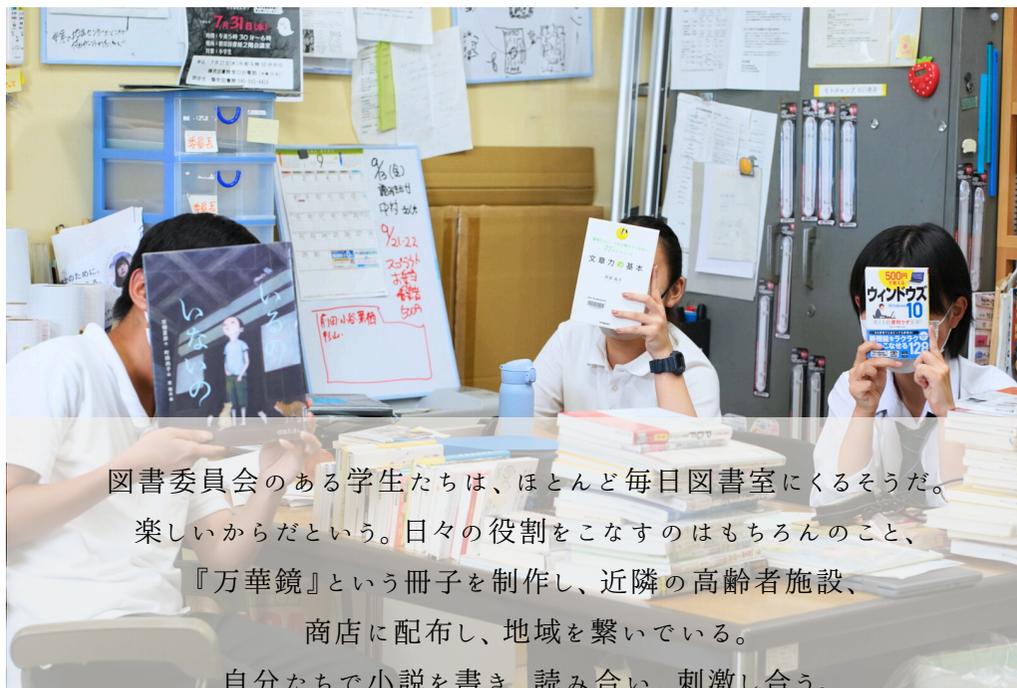
最新の雑誌コーナーは多くの学生に人気がある



図書室は本を読むだけのスペースではなく、お昼ご飯もよし、放課後、ジュースを持ち込み勉強をすることもできる



本棚の後ろにも席が。一人になりたい時や大切な話をするスペースになるようだ



図書委員会のある学生たちは、ほとんど毎日図書室にくるそうだ。
楽しいからだという。日々の役割をこなすのはもちろんのこと、
『万華鏡』という冊子を制作し、近隣の高齢者施設、
商店に配布し、地域を繋いでいる。
自分たちで小説を書き、読み合い、刺激し合う。

こんな切磋琢磨できる委員会は他にないのではないかと話す。

今後やってみたいことはと問うと、

「読み聞かせ」を小学生、中学生にしてみたいと言う。

現在は鶴見図書館に来る子供たちや高齢者施設で腕を磨いており、
本を通じて交流できることに可能性を感じている。

そんな素敵な委員会は先輩から教わり、後輩に伝え、
本校の図書委員会は文化を引き継いでいる。



県立鶴見高等学校
図書委員会